

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

興銀リース株式会社（証券コード:8425）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	安定的		
債券格付	BBB+	→	A-

IBJL 東芝リース株式会社（証券コード: -）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	安定的		
国内CP格付	J-2	→	J-1

■格付事由

- 興銀リースは、みずほフィナンシャルグループ（みずほ FG）系列の大手総合リース会社。産業工作機械、土木建機といったリースの取扱、大企業向け営業に特色を有する。みずほ FG とは営業、人事、資金調達など各面にわたり、密接な関係にある。IBJL 東芝リースは興銀リースの連結子会社で、出資比率は興銀リースが 90%、東芝が 10%である。東芝グループ関連の取引を担う、興銀リースグループにおいて重要な位置付けにある会社で、格付は親会社である興銀リースと同格と判断している。
- JCR は、興銀リースおよび IBJL 東芝リースについて、東芝グループ向け債権の回収リスクが後退したことにより、長期発行体格付を 1 ノッチ引き上げた。この判断には、①東芝について、17 年 12 月の増資や 18 年 4 月のウェスチングハウス社関連の資産譲渡に続き、18 年 6 月 1 日付で東芝メモリ株式会社の株式譲渡が完了したことで、財務基盤が一段と改善する見通しであること、②東芝のメモリ事業再編を通じ、興銀リースの与信集中リスクが緩和されること、③興銀リースの与信管理の強化などの取り組みによってリスク削減が進んでいること、などの JCR の評価が反映されている。
- 興銀リースの東芝グループ向け債権については、引き続き東芝の業績や東芝メモリが手掛けるメモリ事業の動向などを確認する必要がある。一方、興銀リースの業績は堅調に推移しており、内部留保の蓄積で資本の厚みは増している。東芝の財務基盤の改善なども勘案すれば、興銀リースにおけるリスク対比でみた資本の充実度は改善傾向にあると JCR はみている。JCR は、興銀リースにおける、東芝グループ向けなどの事業展開の方向性やリスク管理態勢を見定め、今後の興銀リースおよび IBJL 東芝リースの格付に反映させていく。

（担当）杉浦 輝一・木谷 道哉

■格付対象

発行体：興銀リース株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 5 月 23 日	2019 年 5 月 23 日	0.360%	A-
第 5 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 12 月 5 日	2019 年 12 月 5 日	0.272%	A-
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 4 日	2018 年 12 月 4 日	0.175%	A-

発行体：IBJL 東芝リース株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,500億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018年6月4日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「リース」(2013年7月1日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 興銀リース株式会社
IBJL 東芝リース株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル